

北九州市立図書館がおすすめする本の一部です
参考にしてください

長くつ下のピッピ
アストリッド・リンドグリーン／作
大塚勇三／訳
岩波書店
ピッピは世界一強くてカもちの女の子。
サルの子ルソン氏と「ごたごた荘」に住ん
でいる。大人や泥棒もかなわないパワーで、
ハチャメチャだけどもまっすぐに、きょうも
大活躍！

なみだの穴
まはら三桃／作
小峰書店
突然の転校で友達と離れる光太。引っ越し
先に向かう船の上で聞いた「なみだの穴」の
話とは…。懸命に涙をこらえる子どもたちを
描く、涙にまつわる6つの物語を収録する。

ヤクーバとライオン
ティエリー・デデュー／作
講談社
アフリカの村で戦士になるため、ライオン
を倒しに向かったヤクーバ。しかし出会った
のは弱りきったライオンだった。殺すか、助
けるか。本当の勇気について考える絵本。

北九州市立図書館の連絡先一覧				
図書館名		電話	所在地	
中央図書館		571-1481	小倉北区城内 4-1	
子ども図書館		571-0011		
地区図書館	門司	321-6515	門司区老松町 3-3	
	小倉南	952-4511	小倉南区若園四丁目 1-60	
	若松	761-2942	若松区本町三丁目 11-1 ベイサイドプラザ若松 3 階	
	八幡	671-1123	八幡東区尾倉二丁目 6-1	
	八幡西	642-1186	八幡西区岸の浦二丁目 2-1	
	戸畑	871-3464	戸畑区新池一丁目 1-1	
分館	大里	371-4646	門司区高田二丁目 2-18 大里柳市民センター 2 階	
	新門司	481-1153	門司区吉志新町二丁目 1-1 新門司地区複合公共施設 1 階	
	そねっと	475-0120	小倉南区下曽根四丁目 22-1 曽根出張所 2 階	
	島郷	701-3991	若松区鴨生田二丁目 1-1 島郷合同庁舎 2 階	
	折尾	601-1999	八幡西区堀川町 5-23 オリオンテラス内	
	八幡南	618-8441	八幡西区茶屋の原一丁目 6-1 八幡南出張所 2 階	

<問い合わせ先・読書ゆうびん送り先>
北九州市立子ども図書館
子ども読書活動推進係
〒803-0813
北九州市小倉北区城内4-1
TEL 571-0011

毎月23日は、読書の日

令和8年度
夏の読書
カード

小学校4・5・6年生

- ▶読書の記録
- ▶家読（うちどく）
- ▶読書ゆうびん



北九州市立子ども図書館
マスコットキャラクター
「ヨンダ・コト・アール」

小学校 年 組

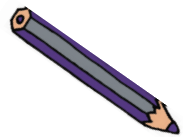
名前

夏の間も
楽しく本を読みましょう！

大どろぼうホッツェンプロッツ
オトフリート・プロイスラー／作
中村浩三／訳
偕成社
おばあさんの大事なコーヒーひきが盗ま
れた！犯人は大どろぼうホッツェンプロッ
ツ。カスパールとゼッペルは取り返しに向か
うが…。スリルと笑いがいっぱいの大冒険！

5 番レーン
ウン・ソホル／作
ノ・インギョン／絵 すんみ／訳
鈴木出版
水泳部のエース、小6のナル。ライバル
に勝てず焦るあまり、ある事件を起こして
しまう。罪悪感に悩みながらも、本当の自
分と向き合い、泳ぎぬく姿を描いた熱い成
長物語。

パンプキン！ 模擬原爆の夏
令丈ヒロ子／作 宮尾和孝／絵
講談社
近所の石碑で見つけた「模擬原爆」の文
字。ヒロカが調べると、爆弾投下の練習で
「パンプキン」が落とされた事実を知る。北
九州にもつながる知られざる戦争の真実を
たどる。



読書の記録



☆ 今年の夏の読書の目標

ぼく・わたしは、7月～8月に 冊 本を読みます！

※下の表に、読んだ日、本の題名、おすすめ（○）を記入しましょう。

読みはじめた日 ↓ 読み終わった日	読んだ本の題名	おすすめ	読みはじめた日 ↓ 読み終わった日	読んだ本の題名	おすすめ
月 日 ↓ 月 日			月 日 ↓ 月 日		
月 日 ↓ 月 日			月 日 ↓ 月 日		
月 日 ↓ 月 日			月 日 ↓ 月 日		
月 日 ↓ 月 日			月 日 ↓ 月 日		
月 日 ↓ 月 日			月 日 ↓ 月 日		
月 日 ↓ 月 日			月 日 ↓ 月 日		
月 日 ↓ 月 日			月 日 ↓ 月 日		
月 日 ↓ 月 日			月 日 ↓ 月 日		
月 日 ↓ 月 日			月 日 ↓ 月 日		
月 日 ↓ 月 日			月 日 ↓ 月 日		
月 日 ↓ 月 日			月 日 ↓ 月 日		

※自分が読んだ本を、友達など多くの人に読んでもらいたいと思ったら、「おすすめ」の欄に○を付けてください。



家読（うちどく）にチャレンジ

「家読（うちどく）」とは、「家族で読書」することです。家族みんなで同じ本を読んで、その本の面白かったところや、よかったことなどを話し合ってみましょう。

「家読」をしたら、『感想ノート』を作ることをおすすめします。家族の読書の記録として、また、成長の記録として残すことができます。記入例を参考にして、家族で取り組んでみましょう。



感想ノートの記入例



本の 名前	読んだ 人	家族の感想
〇〇〇〇 〇〇	私	読んでいてドキドキしたけど、なんでも正直に言うことが大切なんだって思いました。
作者 筆者 △△△	母	お母さんも小さいときに読んだよ。懐かしく感じながら読んでいると、子どもの頃を思い出しました。
出版社 □□□□ □□	父	登場人物について教えてくれてありがとう。新しい発見があったようだね。
おすすめ	妹	おねえちゃんによんでもらってうれしかった。またよんでね。

この本を「ほかの人におすすめしたい」と思ったら、「おすすめ」の欄に○を記入しよう

感動した本を「読書ゆうびん」で紹介しよう



「読書ゆうびん」とは？

読んでもらいたい、たくさんの人にすすめたいと思う本を、郵便はがき形式で紹介するものです。

読んだ感想や印象を文やイラストで伝え合うことで、よい本に出会い、読書に親しむきっかけができます。

また、はがきで自分の思いを相手にわかりやすく伝えようとすることで、表現力を伸ばすことにもつながります。

おすすめの本に出会えたら、「読書ゆうびん」を子ども図書館にも送ってください。

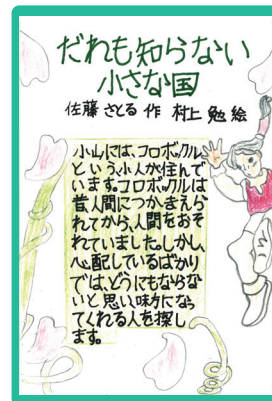
（宛先：裏表紙参照 送付期限：9月12日）



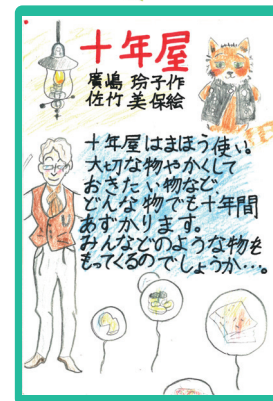
「鹿の王」
作 上橋 菜穂子

令和7年度に届いた
「読書ゆうびん」
参考作品

※はがきの表に、学校名、学年、氏名を明記してください。
※届いた「読書ゆうびん」は、館内に掲示させていただき、来年度の参考作品として掲載させていただきます。（学校名、氏名等は載せません）



「だれも知らない小さな国」
作 佐藤 さとる



「十年屋」
作 廣嶋 玲子